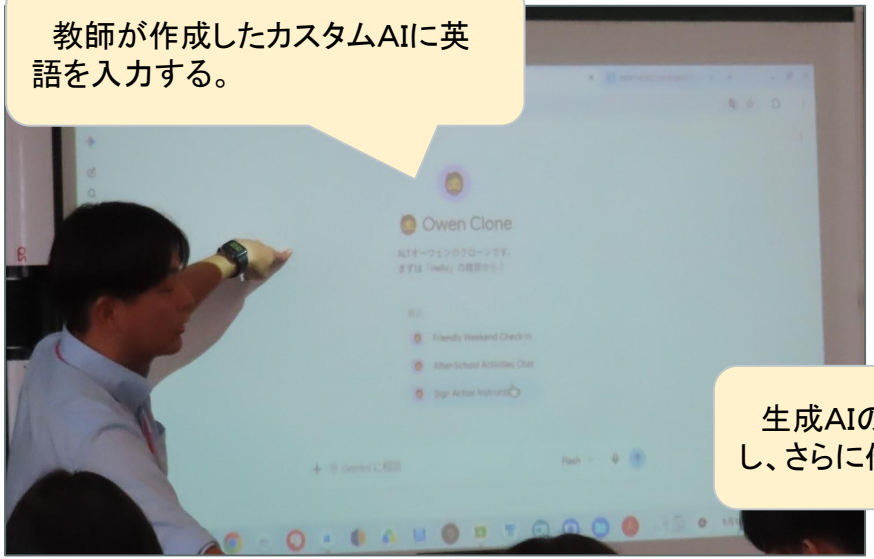
英語科【3年生「 How can we help each other in a disaster?」】

教師が作成したカスタムAIに英語を入力する。

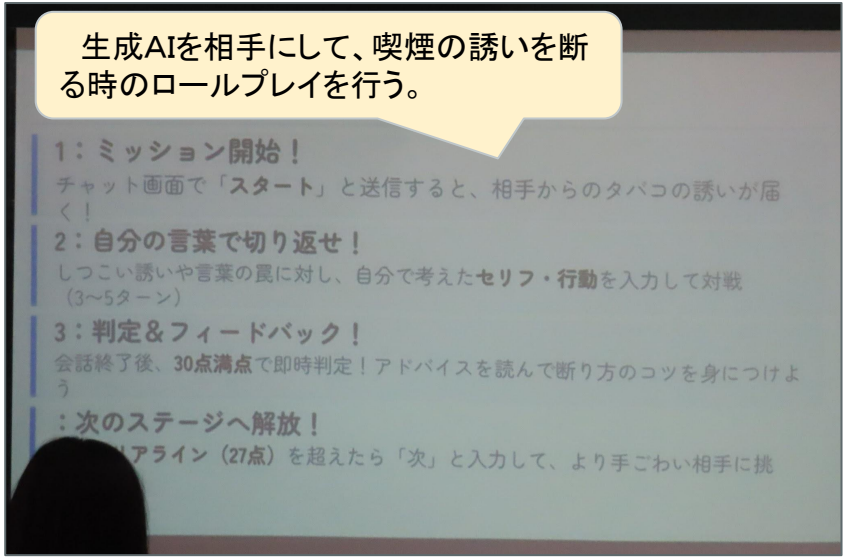


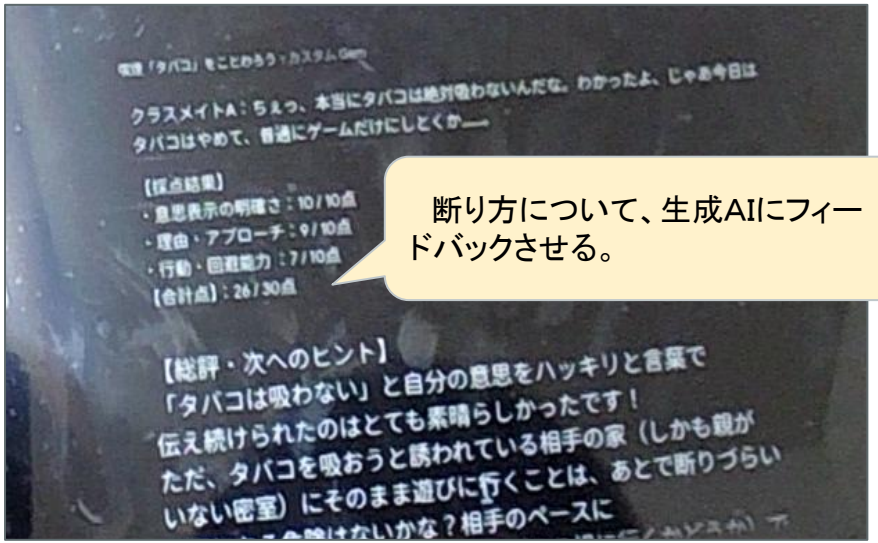


生成AIの回答を基に仲間と相談し、さらに伝わりやすさを追究する。

日本にある標識の意味をわかりやすい英語で表現する活動を行う。生徒は生成AIを相手に英語を入力することで、「どこが伝わりにくいか」「どう直せば親切か」のアドバイスを即座に得ることができる。生成AIの客観的な指摘を基に、自ら言葉を吟味・修正して、実際の英語によるコミュニケーションで生きる実践的な発信力を高めていく。

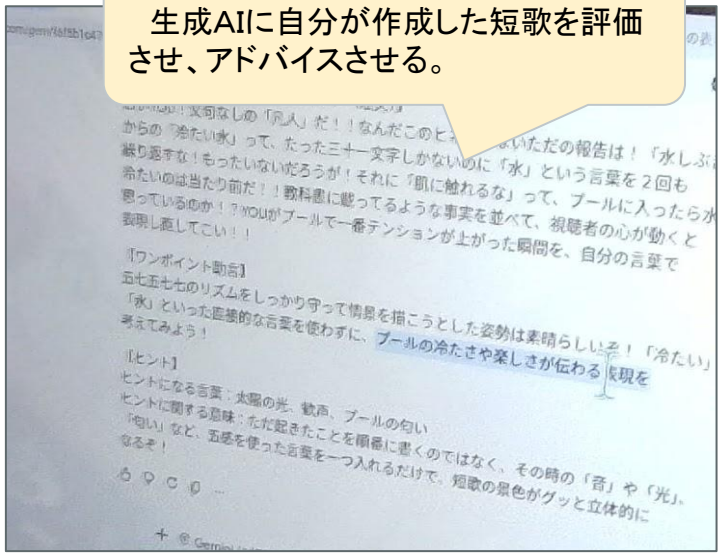
保健体育科【2年生「喫煙・飲酒と健康」】



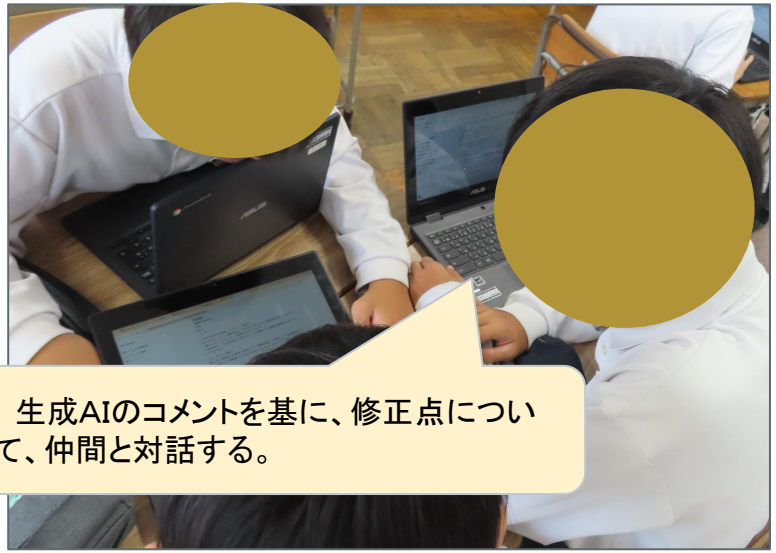


生成AIを、喫煙を誘う相手役にし、状況に応じた断り方について試行錯誤する。従来の生徒同士で行うロールプレイの「誘う役の難しさ」を、生成AIを活用することで解消することができる。生徒は現実のやりとりを想定し、断るスキルを磨き、健康被害を防ぐ適切な行動選択・意思決定をする力をつけることができる。

国語科【2年生「短歌の創作」】



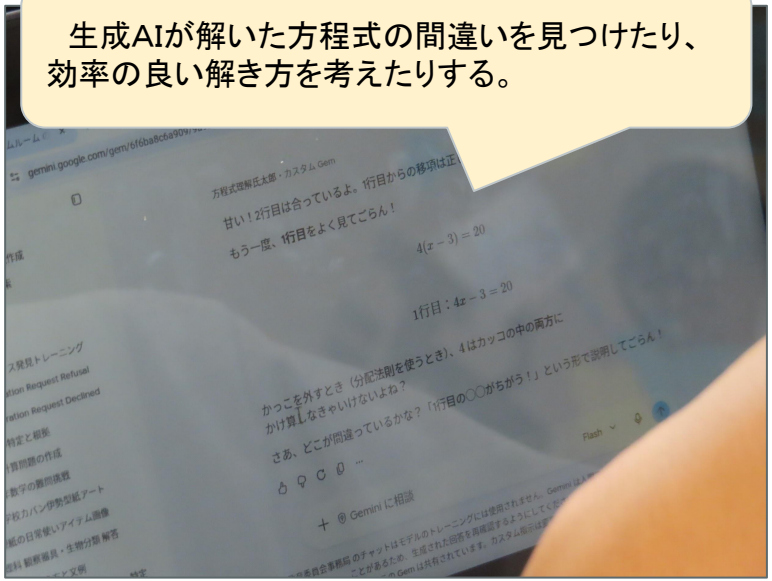
生成AIに自分が作成した短歌を評価させ、アドバイスさせる。



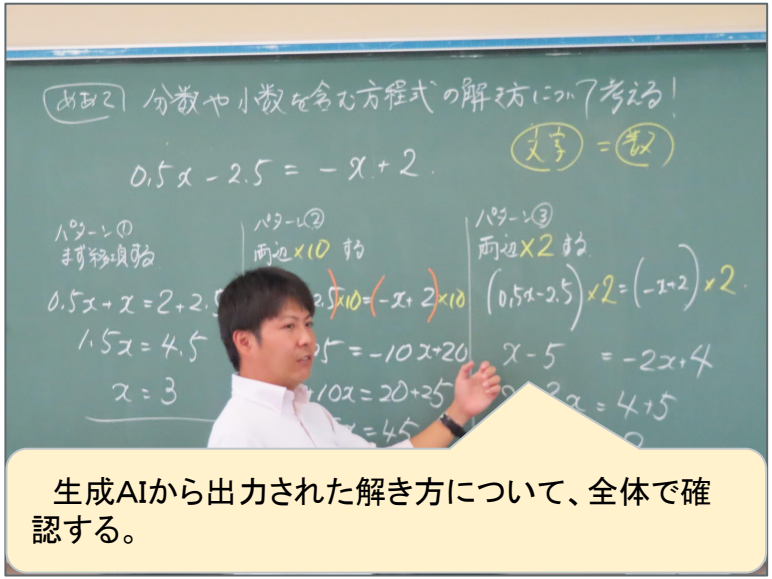
生成AIのコメントを基に、修正点について、仲間と対話する。

短歌の推敲活動において、生成AIを活用する。生成AIから別の言葉を使った表現の提案を受けたり、問いかけに答えたりすることで、生徒は表現したい思いを明確化させていく。さらに、生成AIの評価に対して仲間と対話しながら言葉を吟味・修正する活動をとおして、言葉の効果をふまえた表現の工夫に粘り強く向き合うことができる。

数学科【1年生「方程式」】



生成AIが解いた方程式の間違いを見つけたり、効率の良い解き方を考えたりする。



生成AIから出力された解き方について、全体で確認する。

生徒は生成AIから示された解き方について間違いがないか考え、さらに「より効率的な解法」を求めるなど段階的にレベルアップする課題に取り組む。生成AIの解を鵜呑みにせずに検証する「批判的思考力」を養うとともに、方程式の構造や計算の過程を論理的に整理し直すことができる。

家庭科【2年生「生鮮食品の特徴」】

鮮度や指定野菜など、生鮮野菜の特徴について、端末を使ったり仲間に相談したりして調べる。

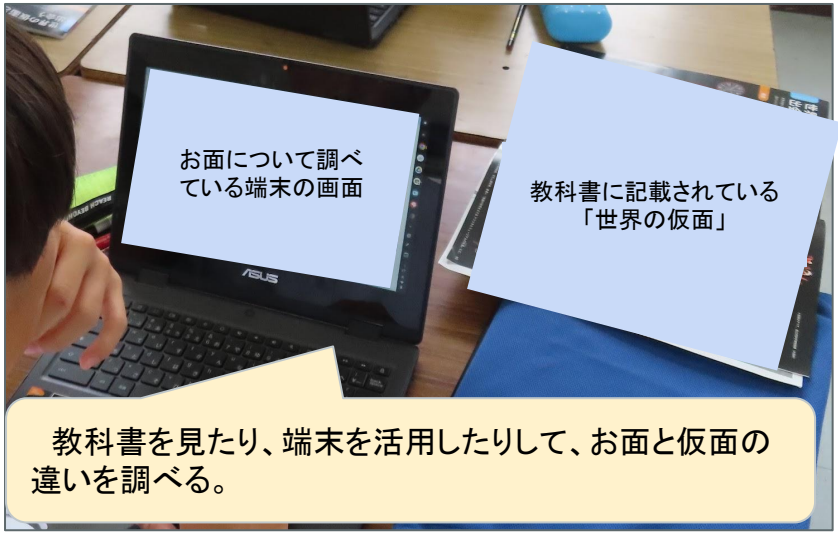




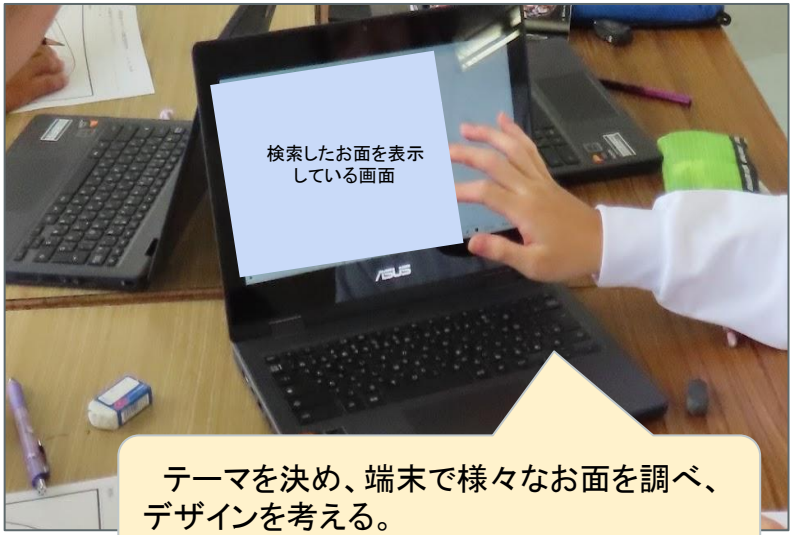
全体で生鮮食品の旬の時期を考える。

生鮮食品の特徴を学ぶ授業で、生徒が各自の端末を用いて様々な食品の旬や鮮度に関する情報の収集を行う。黒板を用いて全体で視覚的に整理することで、生徒は日常生活と結びついた食品の特徴の理解を深めるとともに、目的に応じて必要な情報を主体的に収集・整理する基礎的な情報活用能力を身に付けることができる。

美術科【１年生「お面をデザイン」】



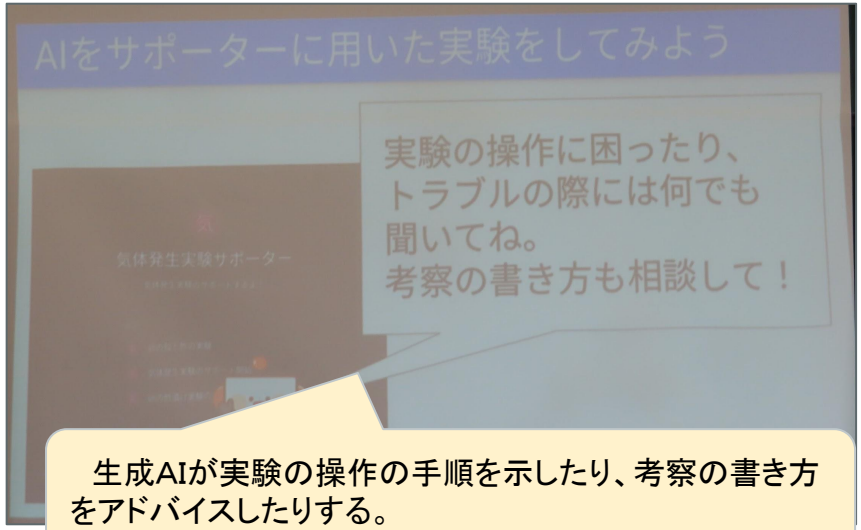
教科書を見たり、端末を活用したりして、お面と仮面の違いを調べる。



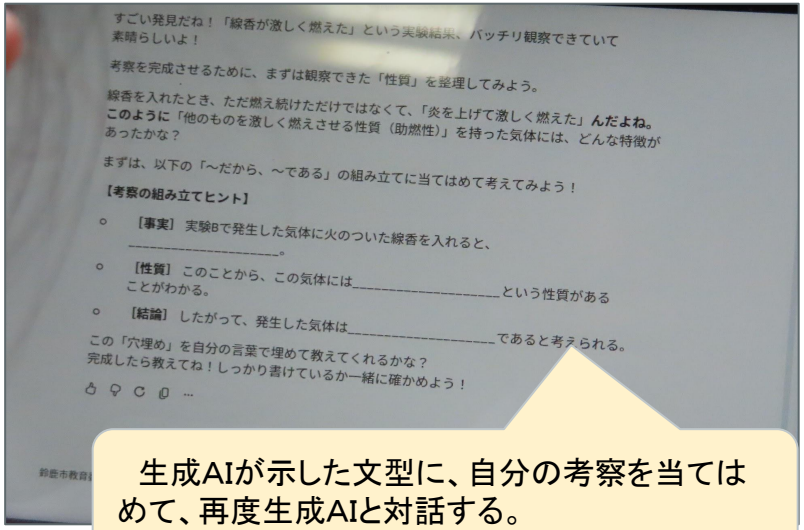
テーマを決め、端末で様々なお面を調べ、デザインを考える。

お面を制作するための構成段階において、生徒は検索した世界各地のお面と教科書に記載されている仮面の比較を通して形状・色彩・役割の特徴を捉え、自らのイメージを膨らませる。学びの状況に応じて端末から情報を選択・参照し、制作の見通しをもちながら主体的に構想を練り上げ、お面の表現活動につなげる。

理科【１年生「いろいろな気体とその性質」】



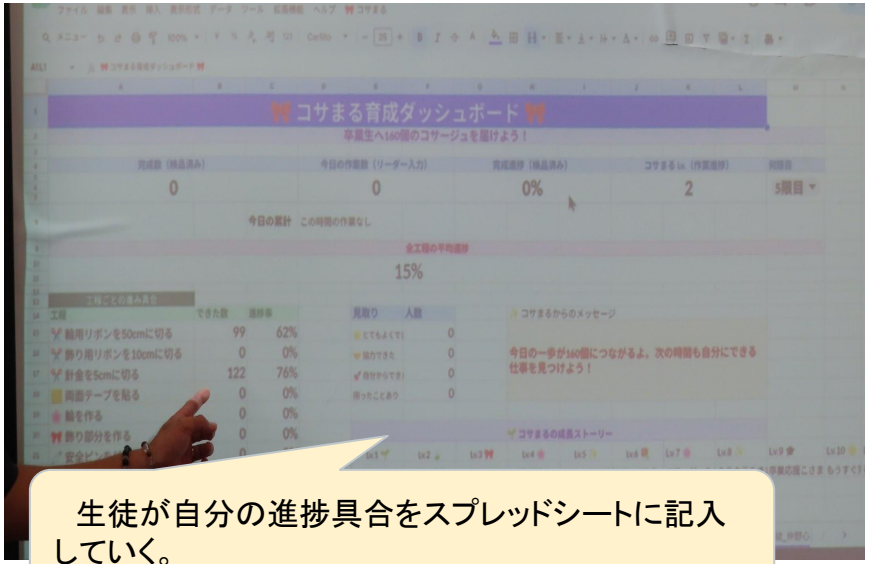
生成AIが実験の操作の手順を示したり、考察の書き方をアドバイスしたりする。



生成AIが示した文型に、自分の考察を当てはめて、再度生成AIと対話する。

気体が発生する実験では、生成AIのアドバイスと教科書を見比べながら「どうやって気体を集めるか」を自分たちで考える。生成AIと対話しながら実験を進めることで、確かめたい気体の性質を科学的な理由と共に考え、本時で扱う科学的事象について理解を深める。

特別支援学級【「手作りコサージュを作ろう」】



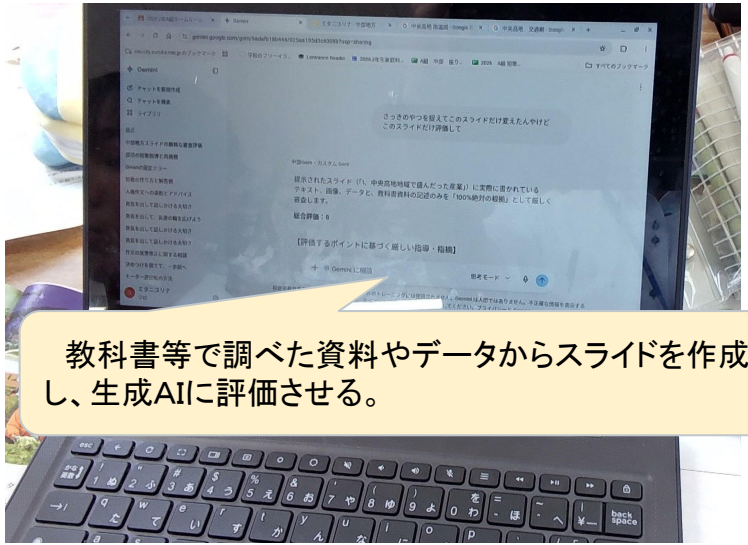
生徒が自分の進捗具合をスプレッドシートに記入していく。



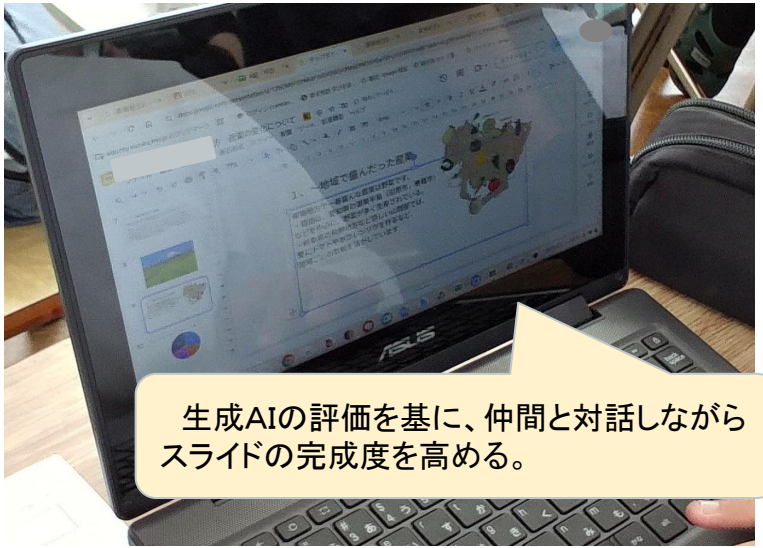
学習の成果が数値化され、自分のがんばりが可視化される。

卒業生へ贈るコサージュ制作において、生徒は生成AIに作業手順を質問したり、進捗状況を可視化することで工程を見通したりしながら分担・協働して取り組む。作成数に応じてキャラクター（生成AIを用いて作成）が成長する仕掛けにより意欲を高めつつ、繰り返しの作業をとおした道具の使い方や仲間と助け合う力を身につける。

社会科【2年生「中部地方」】



教科書等で調べた資料やデータからスライドを作成し、生成AIに評価させる。



生成AIの評価を基に、仲間と対話しながらスライドの完成度を高める。

中部地方の特徴をまとめるスライド作りで、生徒は雨温図や産業のデータを比べながら、「気候や交通の変化が産業にどう影響したか」を分析する。スライドを生成AIに評価させ、「資料から読み取れているか」などのアドバイスを受けて作り直す中で、「根拠（データや図表）→考察(因果関係)→主張」を意識してアウトプットする力を高める。